

指定管理施設事業評価票(令和5年度分)

1. 施設所管課 教育委員会事務局 スポーツ振興課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市運動公園		
	所在地	日光市今市管内(6ヶ所)		
指定管理者	名称	一般財団法人 日光市公共施設振興公社		
	代表者名	代表理事 斎藤 信義		
	住所	日光市瀬尾1640番地22		
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和6年3月31日			3 年間
選定方法	公募	評価実施年	3 年間のうち	3 年目
施設設置目的	運動公園は、日光市都市公園条例に定める施設で、スポーツの振興と地域住民の健康保持及び増進を図るとともに、ふれあいの場として設置しています。また、運動広場は、日光市高齢運動広場条例に定める施設で市民及び来訪者の健康の保持及び増進を図るとともに、地域の活性化推進をするため設置しています。 運動公園の目指すべき方向性としては生涯スポーツ、子育て支援、高齢者の健康増進といった住民ニーズや、今後の環境の変化に対応した運営・管理により、地域住民の身近な運動施設として利便性の向上と安全性の確保に努め、公共の福祉の向上を目指します。			
主な実施事業	今市・丸山・豊岡・落合・塩野室運動公園の施設、設備等の保守管理業務。グラウンド整備。植栽管理。清掃業務。物品補充。簡易修理。巡回点検。 今市・丸山公園の貸し出し等管理業務。 丸山公園水泳プールの管理運営業務。 スポーツ教室の開催。			

3. 利用状況(目標と実績)

	成果指標	単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		目標	実績
			目標	実績	目標	実績	目標	実績		
a	有料施設利用件数(5ヶ所)	件	8,700	7,255	8,750	7,864	8,750	7,645		
b	利用者満足度(総合)	%	90	100	90	97	90	94		
c	遊具の目視点検実施回数	回	52	52	52	53	52	52		
d	芝刈り実施回数(グラウンド)	回	8	8	8	9	7	7		
e	芝刈り実施回数(その他)	回	3	7	3	7	7	7		

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
収入計	A	57,335,650	58,789,538	57,313,287	0	0
指定管理料		56,170,000	57,502,916	55,970,000		
利用料収入	C					
自主事業収入		1,165,650	1,268,811	1,343,287		
その他			17,811			
支出計	B	60,090,786	62,917,310	61,468,113	0	0
指定事業費		59,066,102	61,788,550	60,424,068		
内人件費	D	23,895,282	25,014,136	25,697,710		
内外部委託費	E	11,890,802	11,769,705	10,815,464		
自主事業費		1,024,684	1,128,760	1,044,045		
事業収支	A-B	-2,755,136	-4,127,772	-4,154,826	0	0
人件費率	D/B	39.77%	39.76%	41.81%	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率	E/B	19.79%	18.71%	17.60%	#DIV/0!	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	一定数は安定して継続利用しているが、人口減少、高齢化、少子化の影響も含め、利用者の増加はなかった。
	施設照明のLED化により電気料金は抑えられたが、全体的な物価高騰は続いているため事業経費の増大が抑えられなかった。

サービス改善の状況

利用者の多い丸山公園サッカー場やテニスコートで、大会予約のキャンセルや大会予備日の解放があった際、ホームページに情報を掲載し
利用希望者に周知した。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準		指定管理者 自己評価	施設所管課 評価
① サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。 事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。 外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B	
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B	
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。 個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B	
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。 協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B	
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。 点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B	
	連絡調整	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。 市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	B	
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。 緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。 避難経路が適切に確保されている。	B	B	
	総括	「業務の実施体制」に関する評価【17項目】	B	B	
	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。 事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B	
② サービスの質の評価	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。 利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。 言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B	
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。 施設の目的に沿った自主事業を実施している。 事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B	
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。 仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。 備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。 協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B	
	環境配慮	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B	
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B	
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。 要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B	
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B	
	利用状況	利用実績は、目標水準である。	B	C	
	総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	B	B	
	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B	
③ 安定性	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B	
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B	
	総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】	B	B	
	所見 (成果・課題等)	(指定管理者自己評価) ブラッシングや転圧など、日ごろのメンテナンスは継続して実施し、良好な状態を保てている。しかし、クレーのグラウンド(野球場・サッカー場)に関しては砂の減少が激しく、今後大規模な修繕(砂の入れ替え)も必要ではないかと思われる。 また、園内の樹木にも注視し、枯木や利用者に支障が出るような伸びた枝等を可能な範囲で伐採・剪定することで安全な公園を提供できた。但管理区分外の高木が多くいたため、所管課と連携した管理が必要かと思われる。 (所管課評価) ・利用状況について、利用者満足度を始めとして概ね目標値を達成している点を評価したい。 ・利用者の要望に応じ、大会予約のキャンセル等をホームページにて積極的に周知した点を評価したい。 ・施設の老朽化が進行しているため、定期的な点検や必要に応じた修繕を実施し、引き続き利用者の安全確保に努めてほしい。			
前年度総合		B(良好)	総合評価	B(良好)	

※評価区分

評価基準	A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。	総合評価	A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。		B(良好) = A、C 以外
	C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。		C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
	※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。		
総括評価	A(優良) = 評価項目のうち、A判定が80%以上	総合評価	A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好) = A、C 以外		B(良好) = A、C 以外
	C(要改善) = 評価項目のうち、C判定が20%以上		C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。